

# FFTA21

## ロングレンジ CCD スキャナ

USB キーボードインタフェース

FFTA21WU / FFTA21BU

### ご利用の手引き

1.0a 版

(2010 年 9 月)

#### はじめに

このたびはロングレンジ CCD スキャナ FFTA21 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本取扱説明書には、FFTA21 の外部機器との接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、初めて FFTA21 を使用する前に必ずお読みください。

#### ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。
- (4) 本書に基づいて FFTA21 を運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

#### 商標について

Microsoft® Windows®は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。

日栄インテック株式会社 バーコードグループ

〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-5 日栄インテック御徒町第2ビル



電話：03-5816-7141 FAX：03-5816-7140 e-mail：info@barcode.ne.jp



## 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

本書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を用いて、守っていただきたい事項を示しています。








 <b>警告</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



記号の意味：

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。

⊘記号は、禁止（してはいけないこと）であることを示しています。

●記号は、必ずして欲しい内容を示しています。

 <b>警告</b>	
重要：システム設計者へ ◆ 薬品の管理など、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。	
◆ 次のような場合は、すぐにホスト側の電源を切り、インタフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、事故または故障の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 煙がでている場合、変なおいや音がしている場合</li> <li>➢ 製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入った場合</li> <li>➢ 製品を落とすなどして動作しなくなった場合、ケースが破損した場合</li> </ul>	
◆ 製品を分解したり、改造したりしないでください。 事故や故障の原因になります。	
◆ 湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼしたりしないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 濡れた手で、インタフェースケーブルなどを接続したり取り外したりしないでください。 感電の原因となることがあります。	

 <b>注意</b>	
次のようなことは、絶対に行なわないでください。守らないと、火災や感電、事故または故障の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ スキャナ本体やインタフェースケーブルの上に重たいものを置かないでください。また重いもの下敷きにならないようにしてください。</li> <li>◆ スキャナ本体をたたいたり落としたりして衝撃を与えないでください。</li> <li>◆ 不安定な場所に置かないでください。</li> <li>◆ インタフェースケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったりしないでください。</li> </ul>	

## セットアップ

### (1) ドライバのインストール

FFTA21 シリーズ を初めて PC に接続する際、「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」ドライバのインストールが必要になります。ここでは、WindowsXP SP2 の画面を用いて、インストール手順を説明します。

- a) PC に電源を投入し、Windows を起動します。
- b) スキャナの USB コネクタを、PC の USB ポートに接続します。  
※USB ハブは使用せず、スキャナを直接 PC に接続してください。USB ハブを使用した場合、スキャナの動作が不安定になったり、動作しなかったりする場合があります。弊社では、USB ハブの使用はサポート外とさせていただきます。
- c) スキャナ本体のブザーから 4 音のメロディが鳴り、インジケータ LED が赤色に 1 回点灯します。  
※ブザー音がまったく鳴らなかった場合は、一旦 PC の電源を切り、ケーブルの接続を確認してやり直してください。それでも状況が改善されない場合は、巻末に記載の弊社担当窓口までご連絡ください。
- d) PC のディスプレイ画面のタスクトレイに「新しいハードウェアが見つかりました Barcode Device」のダイアログが数秒間表示された後、自動的にドライバのインストールが始まります。

※OS が WindowsMe 以前の場合は、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合は、画面の指示に従って設定してください。



- e) ドライバのインストールが完了すると、「新しいハードウェアが見つかりました 新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」と表示されます。



## (2) 読取テスト

文字入力できるアプリケーション（メモ帳など）を起動して、次のテストバーコードを読み取ります。



カーソルの位置に「\*12345\*」と入力されていればテスト OK です。セットアップは完了しました。  
この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

## 設定手順

- (1) 『設定開始』バーコードを読み取ります。ブザーが「ピー、ピー、ピー」と 3 回鳴り、設定モードに入ったことを知らせます。
- (2) 変更したいパラメータの設定バーコードを読み取ります。  
パラメータによって、設定バーコードを読むだけで変更できるものと、10 進または 16 進で数値を指定するものがあります。
  - ① 10 進/16 進設定が不要なパラメータの場合：
    - ・ 変更したいパラメータの設定バーコードを読み取ると、ブザーが「ピー、ピー、ピー」と 3 回鳴ります。
  - ② 10 進/16 進で数値を指定するパラメータの場合：
    - ・ パラメータ設定バーコードを読み取ると、ブザーが「ピッ」と 1 回鳴ります。
    - ・ 続けて、10 進/16 進設定バーコードを読み取ります。ブザーが「ピッ」と 1 回鳴ります。
      - ✓ 設定する 10 進/16 進値が固定長の場合、最終桁を読むとブザーが「ピー、ピー、ピー」と 3 回鳴り、10 進/16 進設定が終了したことを知らせます。
      - ✓ ターミネータの設定など、設定する 10 進/16 進値が可変長の場合は、2 桁目以降も、ブザーが「ピッ」と 1 回鳴ります。必要な分の 10 進/16 進値を設定し終えたら、『決定』バーコードを読み取ります。ブザーが「ピー、ピー、ピー」と 3 回鳴り、10 進/16 進設定が終了したことを知らせます。
        - ※ 可変長の項目で、『決定』バーコードを読み取らずに『設定終了』バーコードを読み取ると、10 進/16 進設定が反映されませんのでお気をつけください。
  - (3) 複数のパラメータを設定する場合は、(2) を繰り返します。
  - (4) 必要な設定が終わったら、『設定終了』バーコードを読み取ります。ブザーが「ピー、ピー、ピー」と 3 回鳴り、設定モードが終了したことを知らせます。

※ 設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度「出荷時設定」に戻してから、再度設定を行なってください。

## 出荷時設定

FFTA21 を出荷時設定に戻すには、次の 6 つの設定バーコードを左上から順に読み取ります。

※ 出荷時に下記設定をしてありますので、通常はそのままでお使いいただけます。



設定開始



初期設定



USB キーボード接続



日本語キーボード



ターミナータ : Enter (CR)



設定終了

※ 設定バーコードで、下線のついている項目は、上記出荷時設定を行なったときに設定される項目です。



設定開始

※ 以降の設定は、『設定開始』 → 『設定項目のバーコード』 → 『設定終了』の順に読み取ります。

### ターミネータ（終端文字）の設定



ターミネータ有効



ターミネータ : Enter (CR)



ターミネータ無効



設定終了



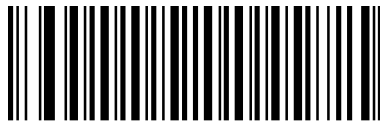
設定開始

## キーボードインタフェースの各種設定

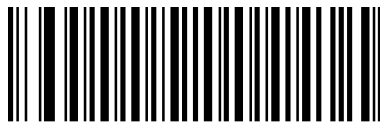
### アルファベットの大文字／小文字の変換設定

アルファベットを含むバーコードを読み取ったときに、大文字／小文字を変換することができます。初期設定は『大文字／小文字を変換しない』です。

なお、大文字／小文字の変換設定は、PCのCaps Lockの状態に依存しません。例えば、『すべて大文字に変換』に設定した場合、PCのCaps Lockの状態がONでもOFFでも、アルファベットのデータは（大文字でも小文字でも）すべて大文字で入力されます。



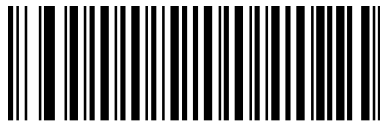
大文字／小文字を変換しない



大文字／小文字を反転



すべて大文字に変換



すべて小文字に変換



設定終了

## 読取バーコードシンボル体系について

下記バーコードシンボル体系は、初期設定で読取許可に設定されています。

- JAN/EAN-13、JAN/EAN-8、UPC-A、UPC-E
- GS1-DataBar (RSS コード)
- コード 39 (フル ASCII を含む)
- コード 128 (GS1-128 を含む)
- コーダバー (NW7)
- インタリーブド 2 オブ 5 (ITF)
- インダストリアル 2 オブ 5
- マトリクス 2 オブ 5
- コード 93

下記バーコードシンボル体系は、初期設定では読取禁止になっていますが、設定を変更することで読取可能になります。弊社 WEB サイトより取扱説明書をダウンロードして設定してください。

- MSI/Plessey
- コード 11

※ その他の詳細設定については、弊社 WEB サイトより取扱説明書をダウンロードして、必要なページを印刷してご利用ください。

<http://www.barcode.ne.jp/download/407.html#FFTA21>